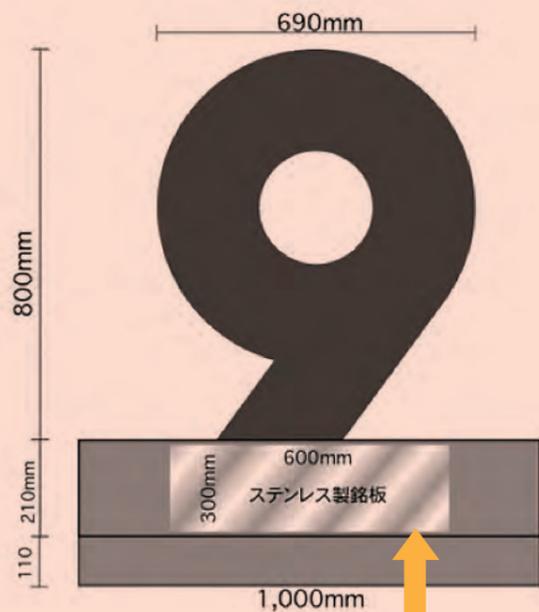


9条を守ろう!

~いのちと平和の大切さを刻む「憲法9条の碑」を建立します~



銘板に9条の条文を刻みます

岐阜市に日本国憲法9条の碑を建立する会

「9条を守ろう」の声を大きくすることが必要です。「9条の碑」建立運動への協力の輪を広げ建立協力を集め、11月3日に「9条の碑」の除幕式を迎えましょう。

健康友の会は今年の5月、平和研修バスツアーを行い、県内唯一の「9条の碑」がある郡上市白鳥町の正法寺を訪ねました。2005年に建立された四角い箱型の石碑の正面に「日本国憲法 第九条の碑」、裏側には「平和のために」と題した建立の趣意書が彫られています。「戦争のあやまちを再び繰り返さないこと誓いとして制定された『平和憲法』の精神を後世に伝えるために碑を建立しました」

目録「9条の碑」

みどり病院の正面玄関芝生に平和のスポットとして「9条の碑」を建てます

正法寺の碑に次ぐ、県内二つ目の「9条の碑」

岐阜市に日本国憲法9条の碑を建立する会を立ち上げました。岐阜市民医連、岐阜健康友の会、藍川地域9条の会、みどり病院・すこやか診療所9条の会が主体となり、ぎふキッズ9条の会、岐阜高校生平和ゼミナールが協力団体です。

敵基地攻撃能力を保有するほど日本の軍事力は拡大し、「新しい戦前」とも言われています。私たちは、「いのちと平和の大切さを掲げる憲法9条を目に見える形に」の思いで「憲法9条の碑」の建立をめざし、「岐阜市に日本国憲法9条の碑を建立する会」を立ち上げました。岐阜市民医連、岐阜健康友の会、藍川地域9条の会、みどり病院・すこやか診療所9条の会が主体となり、ぎふキッズ9条の会、岐阜高校生平和ゼミナールが協力団体です。

と語る住職の西澤英達さんから、県内二つ目の「9条の碑」建立計画への厚い励ましの言葉をいただき、建てる決意が固まりました。全国に広がる9条の碑の建立

11月3日に除幕式を行います

その後も、各地で「9条の碑」をつくる運動が進み、北九州では、「憲法9条の大切さを目に見える形で地域へ発信しよう」と、市民に協力を広げています。長野県上田市では、「上小地域憲法9条の碑を建てる会」(じょうしょう地域は、上田市を含め2市1町1村です)を結成し、「無言館」(戦没画学生慰霊美術館)の近くに11月の完工めざし碑を建て、「平和の決意が目に見える、人を引き付ける場所にしよう」と協力を呼びかけています。

新聞報道によると8月9日の時点で、全国に「9条の碑」は少なくとも40基あります。

その後も、各地で「9条の碑」をつくる運動が進み、北九州では、「憲法9条の大切さを目に見える形で地域へ発信しよう」と、市民に協力を広げています。長野県上田市では、「上小地域憲法9条の碑を建てる会」(じょうしょう地域は、上田市を含め2市1町1村です)を結成し、「無言館」(戦没画学生慰霊美術館)の近くに11月の完工めざし碑を建て、「平和の決意が目に見える、人を引き付ける場所にしよう」と協力を呼びかけています。

と語る住職の西澤英達さんから、県内二つ目の「9条の碑」建立計画への厚い励ましの言葉をいただき、建てる決意が固まりました。全国に広がる9条の碑の建立

「いつでも元気」

MIN-IREN

読みませんか?



全国で約47,000部以上読まれている、色々な情報が詰まった月刊誌です。医療、介護の情報はもちろん、地域の活動や、運動、脳トレなどの健康法、食の健康や情勢についてなどなど。1部380円です

11月30日までに購読申込みをされた方には、もれなく下記のどれか一つをプレゼント!! ※なくなり次第終了この機会に是非購読をお願いします。



元気トートバッグ



マスクケースセット



いわさきちろのクリアファイル



購読をご希望の方は、岐阜健康友の会本部 下記までご連絡ください 058-244-3522

同封した署名のご協力をお願いします

現行の健康保険証を残してください

マイナンバーカードは、誤登録や情報漏えい、「資格無効」と表示される等、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。

又、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民のいのちと健康が脅かされます。

国民も、患者も、医療機関も望んでいないマイナンバーカードとの一本化は直ちにやめて、現行の健康保険証を残すためにも皆さんの声を届けましょう。



介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名

介護保険料は上がり続け、利用料などの重い費用負担のために必要なサービスを利用できない実態が広がっています。介護現場の人手不足も深刻です。2024年度の介護報酬改定はプラス改定となりましたが、他事業より低い介護事業者の賃金引き上げ、介護事業所の経営困難をカバーすることもできません。さらに、訪問介護の報酬が引き下げられ、小規模の訪問介護事業所が廃業に追い込まれています。

介護する人・受ける人がともに大切にされる介護保険制度を実現させるために署名のご協力をお願い致します。



高等教育無償化を求める請願

『食費を削って授業料に充てている』『奨学金の返済がとても不安』『生活の為に長時間アルバイトをせざるを得ず学業に集中できない』など、「全国看護学生アンケート調査」には、看護学生の過酷な実態と悲痛な声が多数寄せられました。高等教育の無償化の流れは、日本政府も批准している国際人権規約で定められた国際標準ですが、国立大学授業料で言えば1970年には13,000円だったものが、半世紀の間値上げを繰り返し、現在では535,800円と40倍以上になっています(文部省統計より)学費の値下げ、無償化は家計支援策でもあり、少子化対策です。看護職の養成は、超高齢社会の中でますます求められており、看護学生が経済的不安なく学び続けられる環境の整備は喫緊の課題です。

